

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

播州織

植山織物株式会社

海外ブランドとの取引を強化し 伝統的織物を世界に発信 IT活用でグループ効率化

アパレル業界の不振に加え、海外産地との競争で播州織を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、同社はグループ力と柔軟な発想力で業績を伸ばしています。

整経（タテ糸を準備する工程）、サイジング（糊付け）、染色、製織、加工（生地の風合い出し）など、分業体制で成り立つ播州織の産地において、染色、加工を除く全ての工程を自社で担う同社。産地最大規模を誇る工場には新旧110台以上の織機が並び、機種を使い分けながらデザインや色合い、風合いに至るまでメーカーからの細かい要求に応じています。また、倉庫にはシャツに換算して100万着分以上の生地の在庫があり、自社企画商品による提案型営業を行っていることも特長です。

こうした強みを武器に、2007年から海外展開に打って出ました。欧米、アジアに拠点を構え、バーバリーやポロ・ラルフローレンなどの一流ブランドに生地を卸し、

海外の売上比率は20%にまで増えました。「自由にチャレンジできる社風」から貪欲に新事業にも挑戦。近年手掛けた自社ブランドのシャツ、ジャケットは国内の人気セレクトショップに並んでいます。

植山展行社長は11年、先代の急逝に伴い、26歳の時に大手ビジネス機器メーカーを退職し戻ってきました。「スペックの定められた機器と違い、播州織は五感でものづくりを行う全く異なる世界」でしたが、そこに会社員時代に蓄積したノウハウを移入していきます。その一つがIT化。グループ企業それぞれで抱えていた生地情報を一括管理して無駄をなくすとともに、倉庫にある生地の一つ一つにICタグを付け管理することによって業務の大幅な効率化につなげています。「播州織は、長い伝統に裏打ちされた文化として世界から評価を受けています。これらを発信し続けていくことで地元貢献していきたい」と力強く語ります。



新旧さまざまな織機が並ぶ工場



整経からスタートする工程

◎植山織物株式会社の
播州織

植山織物株式会社 / 所在地: 多可町八千代区仕出原681 / 代表取締役: 植山展行
事業内容: 綿スワ織物業
TEL 0795-37-1135 / URL <http://www.ueyama.net>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ！」に登場いただいた植山織物の工場の床面には木が敷かれています。「作業者の体の負担を和らげるため」で、外国から来る一流ブランドの経営者はそのような配慮に感心するとのこと。ここ10年で離職者も一人にとどまっているそうです。

JUMP

2016年11月号 平成28年10月30日発行
発行人: 榎本輝彦 編集人: 角 正憲

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp/>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526